

Nursing Star

for Speciality

日精看ニュース
No.752

ラダーレベルや興味に合わせて **カスタマイズ!**

イラスト/BIKKE

日精看 研修会の選び方

日精看の研修会は、講師もテーマも魅力的で、精神科看護をしっかりと学べるのが特徴！
 これまでも全国の精神科看護職が活用し、仲間との交流も深めています。
 さらに来年度からは、「精神科看護職の臨床ラダー」(以下、ラダー)にもとづき、体系的に学べる教育事業を展開します。いままで以上に選び方のバリエーションが増え、自分の目標や課題に合わせて選ぶこともできるようになります。
 この特集では、研修会のさまざまな選び方をご紹介します。来年度、あなたはどんな研修会を選びますか？



2022年度日精看の研修会 ラインナップ決定! その魅力と活用しやすいポイントは?



**ラダー研修会を導入!
自分の実践力に合わせて
学べます!**

自分がいま身につけている看護実践能力を見きわめながら、次の目標に向けたステップを着実にふめる！
 そのための、多様な研修会がそろっています。
 基礎から応用までをしっかり学べる研修会で、あなたの成長を支えます！



**豊富なオンライン研修会!
自分の状況に
合わせて学べます!**

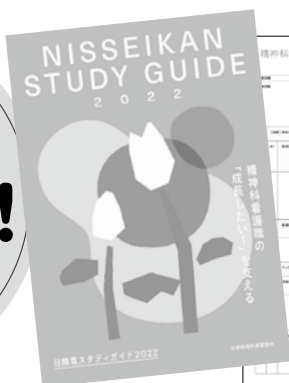
いつでもどこでも、くり返し学べる「オンデマンド研修会」がいっぱい！ 子育て中でも、遠隔地に住んでいても、精神科看護の第一人者の研修会が手軽に受講できます。
 支部では「ライブ配信研修会」も企画しています。日精看ではオンラインで受講可能な研修もとりそろえています！



**最新知識や
トピックが学べます!**

いままでと同様、自分の興味のあるテーマや、いますぐ学びたい最新知識が学べます。
 感染防止対策、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)、共同創造(コプロダクション)の理解と実践、ディブリーフィングの基本など、話題のテーマが盛りだくさんです！

今年も豊富な
110研修!
(本部主催)



精神科看護職の臨床ラダー (日精看ラダー)	
ラダーレベル	研修会
1	基礎から応用までをしっかりと学べる研修会
2	実践力アップのための研修会
3	最新の知識やトピックを学ぶ研修会
4	オンライン研修会
5	オンデマンド研修会
6	ライブ配信研修会

「日精看スタディガイド2022」に研修会と選び方の詳細が書かれています！
 協会HPからもダウンロードできます。
 ぜひ一緒にご覧ください。



ぜひLINEにご登録ください!



ラダーを活用して研修会を選択する手順

「日精看スタディガイド 2022」P.10-19参照

自分の現在の看護実践能力を把握し、課題や成長させたい部分に合わせて選べます

Aさんのプロフィール

私の病院ではラダーを導入していません。今まで日精看の研修会は1年に2回ぐらい、興味あるものを選んで受けてきました。ラダーというシステムは聞いたことがある程度ですが、「スタディガイド」を見て、ラダーを活用して研修会を選んでみたいと思います。

STEP.1 到達目標を確認しながら、自分のレベルを見つける



来年度からラダー導入か、どこから考えたらいいかな？

到達目標から見るのか？
私はいったいどこまでできていて、まだできていないところはどこだろう？

なるほど。
自分はレベルIIで、そろそろIIIの段階ぐらいだな。

到達段階	レベルI	レベルII	レベルIII	レベルIV
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ●基本的な看護手順に従い、必要に応じて安全に看護を実践できる。 ●部署のマニュアルを活用し、主体的に看護を実践できる。 ●自己の教育的課題を発見し、主体的に学習活動に取り組むことができる。 ●社会人として、組織の一員としての役割を全うできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●根拠のある判断、看護実践ができる。 ●対象者の希望をふまえ、看護計画に基づいて、自立して看護を実践できる。 ●自己の教育的課題達成に向けた教育活動を展開することができる。 ●判断に迷うときは、自ら他者に相談し、メンバーシップで課題を解決できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●対象者の個性を理解し、状況に応じた看護を実践できる。 ●自身の課題を克服しようと取り組み、自身の強弱を認識し、自身の持ち味を活かした看護ができる。 ●自己の教育活動に積極的に取り組むことができ、指導的役割も果たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●対象者をとらえ、幅広い視野と予測的な視点から看護を実践できる。 ●チーム全体の責任を担うために、チーム全体の力を発揮した行動ができる。 ●広い視野で必要な知識やスキルを習得できる。 ●精神科医療の現状をふまえて、自分の役割を理解し、業務が効果的かつ経済的に効率よく行える。スタッフに指導的にかかわることができる。 ●所属施設や部署の理念と方針をふまえて自己の役割を担うことができる。

ラダーの上段「到達目標」の欄を横に見ます

STEP.2 自分のレベルを見つけたら、そのレベルを縦に見て、いまの自分に必要な実践力や強化したい実践力が何かを確認する



ラダーIIはだいたいできているけど、「薬物療法にかかわるケア」は、まだ自分にとって課題だな。

「説明責任を果たす」も、対象者が理解できるようには説明できていないな。

この前、統合失調症の患者さんに薬のことを聞かれてうまく答えられず、……モヤモヤしていたんだよね。

到達段階	レベルI	レベルII	レベルIII	
看護実践能力	C3 心身両面からのケア	<ul style="list-style-type: none"> ●身体疾患に関する既往歴、現病歴、治療（服薬内容や処置）を理解し、必要な診療の補助ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓精神疾患と身体疾患の関連、病気の経過や治療による影響を考え、病歴や対象者の訴えのみに惑わされず、その他の病因も考慮してアセスメントし、対象者の状況をみながらケアすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●対象者の自覚症状や病気の捉え方について側面からアセスメントし、療養上の課題を明確にすることができる。 ●身体ケアの重要性を理解し、精神面へのケアも実践することができる。
	C4 薬物療法にかかわるケア	<ul style="list-style-type: none"> ●定時薬について、作用と副作用を意識して観察・対応できる。 ●頓服薬使用時に対象者の状態像を観察し、報告できる。 ●頓服薬使用後の効果と副作用の有無を観察し、報告できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●対象者に処方されている薬が何を目的として処方されているのかを理解し、その目的に合わせて対象者の変化を観察、記録、報告することができる。 ●頓服薬の作用と副作用を理解したうえで、対象者が正しく内服できるよう対応できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●対象者の薬の服用状況、副作用をモニターし、必要に応じて薬物療法の援助ができる。 ●希望する頓服薬の使用の妥当性を判断し、説明や使用ができる。
	C5 治療プログラムとケア	<ul style="list-style-type: none"> ●グループ療法、服薬心理教育、作業療法、デイケア、訪問看護会等に参加し、それぞれの特徴や意味について理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓対象者にとって治療プログラムがどのような意味を持つのか考えながら、一緒に参加することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●対象者の治療プログラム参加状況から、生活態度を確認し、個々の生活を考慮したケアにつなげる。
	C6 緊急性の高い状況に対応する力	<ul style="list-style-type: none"> ●対象者や他者の安全が保てない状況や緊急性のある状態の場合、ただちにリーダーに報告し、指示にしたがって行動できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓緊急性のある状態を発見した場合、何が起きているか判断して応援を呼び、自立して対応できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●緊急性のある事態が起こった際に、メンバーシップで対応できる。
	C9 説明責任を果たす	<ul style="list-style-type: none"> ●行うとするケアについて、対象者が理解できるように説明し、必要を理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●行うケアや行われている治療について、対象者が理解できるように自分の言葉で説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●対象者の思いを受け止めながら、相手の理解しやすい方法で必要な情報を提供することができる。

STEP.3 自分の実践力を養うためにどのような研修会が活用できるか？



きちんと薬のことを患者さんや家族に説明できるようにになりたい。そのためには、どんな研修会が役立つかな。

項目の下に、役立つ研修会が書かれているのへん、たくさんあるんだな。ここから選ぶといいのね。

C4	薬物療法にかかわるケア	<ul style="list-style-type: none"> ●定時薬について、作用と副作用を意識して観察・対応できる。 ●頓服薬使用時に対象者の状態像を観察し、報告できる。 ●頓服薬使用後の効果と副作用の有無を観察し、報告できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●対象者に処方されている薬が何を目的として処方されているのかを理解し、その目的に合わせて対象者の変化を観察、記録、報告することができる。 ●頓服薬の作用と副作用を理解したうえで、対象者が正しく内服できるよう対応できる。 	この実践力の強化には
	研修会	<ul style="list-style-type: none"> (32) 統合失調症の理解とケア (33) 気分障害の理解とケア (41) 多飲水・水中毒の理解とケア (43) 向精神薬の基礎知識 (64) 精神科薬物療法の知識から有効性と限界を学ぶ 		これらの研修会が役立つ

研修会はこちら！

「薬物療法にかかわるケア」… 向精神薬の基礎知識／統合失調症の理解とケア（レベルI、II）
 「説明責任を果たす」…………… 精神科看護職の倫理綱領 解説①（レベルI、II）
 「関係構築」…………… 「コーチングの基礎と活用」（レベルIV）

*この誌面では「日精看スタディガイド」を一部加工、省略して掲載しています。

ほかにもたくさん! さまざまな選び方ができます!

課題克服に向けた選び方、興味関心や状況による選び方も



自分の課題を克服するための研修を受けたい!

Bさん ラダーレベルⅢ

■看護実践の状況や課題

私はラダーレベルⅢです。感情的になる患者さんの対応に自信がありません。「私自身が感情的になってしまうのが課題で、自分を見つめ直す必要がある」ということを上司との面接のなかで認識しました。

■ラダーで自分の看護実践力を確認する

精神科看護職として、自分の感情を意識したり、感情をコントロールしながら対応をしていきたいです。ラダーで「看護師の自己洞察・自己活用」という項目を発見しました。

■いまの状況に活用できる研修会が何かを考え選択する

「看護師の自己洞察」に焦点を当てて、自分自身の傾向を考えたり、自分の感情をコントロールするスキルを学んでみよう。

研修会はこれ!

- 援助者が自身の感情をマネジメントする方法(アンガーマネジメント)〈レベルⅡ～Ⅳ〉
- 気がかりを見つめ直しケアにつなげる異和感の対自化〈レベルⅡ～Ⅴ〉
- 自己表現が楽になるアサーション入門〈レベルⅢ、Ⅳ〉



先輩のような患者さんへのかかわりがしたい!

Cさん ラダーレベルⅠ(推定)

■看護実践の状況や課題

今年、看護師の資格をとって精神科に就職しました。職場ではラダーは導入していませんが、到達目標を確認すると、ラダーレベルはⅠです。患者さんのお話を聴きながらケアをしたいのですが、先輩のようにうまくかかわれません。

■ラダーで自分の看護実践力を確認する

ラダーレベルⅠを縦に見てみると、自分の課題はたくさんあります……。まずは患者さんとのコミュニケーションをいちばん伸ばしたいと思うので、「関係構築」の実践力を強化したいと考えています。

■いまの状況に活用できる研修会が何かを考え選択する

研修会はこれ!

- コミュニケーションの基本〈レベルⅠ〉
- 精神科看護に必要なコミュニケーションスキル〈レベルⅠ〉



退院支援の力をもっと磨きたい

Dさん ラダーレベルⅣ

■看護実践の状況や課題

私はラダーレベルⅣです。複雑な状況下にある患者さんのケアを実践し、もっと早く多職種と連携したり、社会資源の知識があればよかったですと感じました。この機会に自分のケアを振り返り、状況の整理や対象理解の幅を広げたいです。

■ラダーで自分の看護実践力を確認する

ラダーレベルⅣを縦に見てみると「協働していく力」を、もっと伸ばしたいと思いました。ほかの看護職の視点も聞いて、自分の実践も振り返りたいから、事例検討にも挑戦してみたい!

■いまの状況に活用できる研修会が何かを考え選択する

研修会はこれ!

- 地域生活を支える社会資源の活用と連携〈レベルⅠ～Ⅴ〉
- 医療チームにおける看護の役割と実践〈レベルⅡ～Ⅴ〉
- 気づきを活かす事例検討会5回シリーズ〈レベルⅣ、Ⅴ〉



とにかく新しい知識を得たい!

Eさん

■看護実践の状況や課題

職場ではラダーを導入していません。精神科での経験は3年ほどで、精神科看護の面白さを実感しはじめています。いままで年1回程度は研修会に参加してきました。今年も何か新しい知識が得られるような研修会に参加したいです。

■いまの状況に活用できる研修会が何かを考え選択する

ラダーレベルに関係なく、従来どおり、興味関心のある研修会に参加することができます。



育休明けで自由な時間がない!

Fさん

■看護実践の状況や課題

産休育休が明けて、職場復帰をしました。子育て中で研修会を受けに行く時間がないのでオンラインで受講できる研修会があればいいな。

■いまの状況に活用できる研修会が何かを考え選択する

研修会の一覧にオンデマンド研修会が60個あった! まずはあらためて疾患の基本について学習しておこう!



組織の看護力を向上させたい!

Gさん 看護管理者

■看護実践の状況や課題

看護部長です。この病院の看護に何か特徴を出したい。しっかりした看護の軸をつくって、「うちの看護はここに力を入れています!」と自信をもって言えるようにしたいです。

■いまの状況に活用できる研修会が何かを考え選択する

組織的に統一したケアができるように、看護師を計画的に研修に参加させていこう。

研修会はこれ!

- 話題のトラウマ・インフォームドケアを取り入れたい!
- トラウマ・インフォームドケアの基本と実践〈レベルⅢ〉
- 地域包括ケアシステムに向けて、アセスメントの軸を変えていこう!
- 精神科におけるリハビリテーションとリカバリーの基礎知識〈レベルⅠ～Ⅴ〉
- ストレングスモデルを活用した精神科の看護過程〈レベルⅠ～Ⅴ〉
- 患者も看護師も安全な病棟をつくりたい!
- 包括的暴力防止プログラム〈レベルⅠ～Ⅴ〉
- 認知症の看護力を向上させたい!
- 認知症疾患の理解とカンファタブルケア〈レベルⅠ、Ⅱ〉

協会ホームページには研修会情報が満載!



1 「精神科看護職のクリニカルラダー」特設ページをアップしました!

- 日精看の継続学習支援を動画でわかりやすく解説!
- ① 日精看の継続学習支援
～なぜクリニカルラダーを導入するのか～
 - ② クリニカルラダーについて
～クリニカルラダーの考え方・しくみ～
 - ③ 精神科看護職のクリニカルラダー(通称「日精看版ラダー」)概要
 - ④ 精神科看護職のクリニカルラダーをふまえた継続学習(研修会)について

2 支部主催の研修会情報も、随時アップしていきます!

支部研修会の具体的な日程とテーマは、協会ホームページに随時、掲載していきます。乞うご期待!

3 研修会のお申し込みは、ホームページから!

いままでFAXのお申し込みも受け付けてきましたが、今後はホームページのみの受け付けとします。ブラウザは、Microsoft EdgeとGoogle Chromeに対応できるようになります(3月より)。ホームページで研修会情報をご確認のうえ、お申し込みください!

いまさら聞けない!

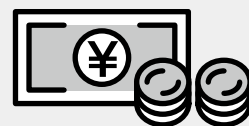
連載
第2回

診療報酬

ニュースや経営の話では、よく話題にのぼる診療報酬。でも、普段のケアの中では、なかなかなじみがないのではないのでしょうか。

いまさら聞きづらい基本的な仕組みから計算方法etc……、この機会に、4回にわたっていいにお伝えします!

「基本の「き」から教えます!」



草地 仁史
日本精神科看護協会
業務執行理事

■ 診療報酬の算定の仕方

第1回では、診療報酬は医療行為を行った医療機関へ支払われる対価であるという説明をしました。医療行為の利用率が高まれば、診療報酬によって医療機関の運営は支えられますが、患者さんと国(社会保障給付金)の負担額は大きくなります。そのため診療報酬は、求められる医療ニーズが適正に提供されていることを前提に、報酬項目とその額が設定されていなければなりません。

では、診療報酬項目の評価を理解するためにいくつかの例をご紹介します。

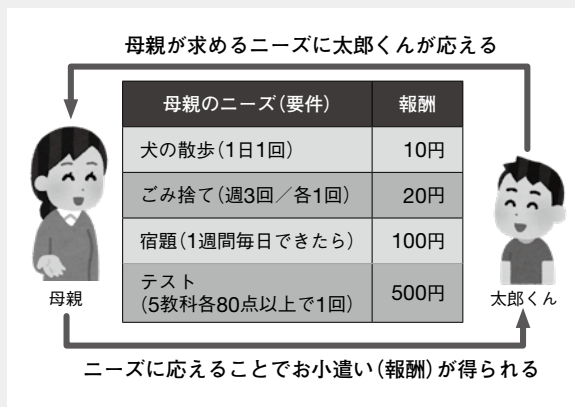
図1は「太郎くんの家のおこづかいルール」です。お母さんが太郎君に求めるニーズは4つあります。1日1回犬の散歩をすると10円もらえますが、それ以上散歩をしても、おこづかいはもらえません。また、1週間欠かさず宿題を行ったら100円もらえますが、1日でも休むとおこづかいはもらえません。つまり、お母さんの求めるニーズには個々に必要な質と量があり(要件)、それを満たすことで太郎くんは決められたおこづかいが得られるわけです。

太郎くんの例では報酬単位を「円」で示しましたが、診療報酬は「点」で表され、「1点の単価を10円として計算する」というルールがあります。全国どこの病院、どの医師の診察を受けても、診療報酬

の点数は変わりません。

図2は、初めて外来受診したときに受けた診療の例です。初診料は288点ですから、金額にすると2,880円になり、例に挙げた診療をすべて受けると合計で1,238点(12,380円)になります。内訳としては、保険負担分が保険者から医療機関に支払われ、患者さんは自己負担分(3,710円)を医療機関に支払うことになります(3割負担の場合)。多くの場合、

図1 太郎くんの家のおこづかいルール



●次回は、「〇〇料と〇〇加算」についてご紹介します。

2回目以降の外来受診時には初診料ではなく再診料として73点を算定することになります(初診料よりも215点安くなる)。

このように診療報酬は、保険制度を活用して医療行為が受けられる項目を設けてあり、各項目には医療行為の必要性や重要性を考慮して、さまざまな要件が設定されているのです。

図2 診療報酬点数表の例

診療報酬では1点=10円というルールがある(出来高払い制)

初診料	288点
血液検査	200点
レントゲン	210点
精神療法	540点
合計	1,238点
	12,380円
3割負担の場合	3,710円

* 外来受診時の初診料(基本診療料)・検査・精神療法(特掲診療料)との組み合わせ

| 連載 |

密着!! 目精看版ラダー導入への道

何から始める?
どう進める?

この連載では、所属施設に「精神科看護職の臨床ラダー」を導入しようと考えた、医療法人北仁会石橋病院(北海道小樽市)の副看護部長である岩

代さんが、臨床ラダー導入までの道のりをタイムリーに報告します。今回は臨床ラダー導入までをイメージするための行程表をご紹介します。

※臨床ラダーの基本は「ナース・スター」2021年8月号の特集をご参照ください。

第6回

臨床ラダー導入までの計画を立てる

石橋病院では臨床ラダー(以下、ラダー)導入の目的を明確にし、2023年度からの導入に向けて準備を進めています。ラダーを導入するまでに、どういう手順で何が必要になるのかを具体的にイメージしながら、今後準備すべきことを洗い出し、

この1年間の行程表を作成しました。

基本的にはこの行程表に沿って準備を進めていく予定です。この行程表どおり、進められるのか……!? 取り組みの詳細は、今後の連載でお伝えしていきます。

● 臨床ラダー 導入までの行程表

～いままでのプロセス～	～これからの予定～
2021年 4~5月 ●ラダー導入の検討	4月 ●導入時のレベル申請方式を決定 全員一律でレベルIから始めるか、現時点のレベルを評価して始めるか、など
6月 ●ラダーの学習会	●すでにラダーを導入している病院を見学 ●ラダー運用の具体的な内容について検討
8月 ●ラダー導入のメリット・デメリットを検討	5~7月 ●各レベルのクリア要件の検討 ●各レベルの学習内容(研修会)の検討 ●評価体制の年間フロー、評価方法を検討、決定 など
10月 ●ラダー導入の目的を明文化	8月 ●看護職員への説明内容と説明会の方法を検討、確定 ●説明者の検討、確定
12月 ●育成するナース像を明文化	9月 ●説明会に向けた準備
2022年 1月 ●臨床ラダーワーキンググループ(WG)の役割と開催方法の検討 ●導入までの計画の検討・行程表の確認 ●導入までの行程について師長・主任会で報告	12月 ●看護職員に向けた説明会の実施
2~3月 ●「精神科看護職の臨床ラダー」の確認と共通理解 ・ラダーの各項目がイメージできるか、理解があいまいなところはないかをWGで共有 ・病院独自の項目を追加する必要があるか否かを検討 →当院の看護(職)と照らしあわせ、現在の項目で目的を達成するための内容を網羅しているか	2023年 1月 ●ラダー運用基準(マニュアル)の作成 ●ラダー認定委員会の規定を作成
	2~3月 ●ラダー導入にあたっての最終的な確認(師長・主任会) ●ラダー導入時評価の実施 ●看護職員個々のレベルを確定
	4月 ●ラダー導入を開始

●次回予告「臨床ラダー ワーキンググループの役割」

日精看 しごとをつくろう プロジェクト

日精看 しごとをつくろう プロジェクトは 地域で働く精神障がい者を 応援しています

「しごつく」の カタログで お買い物をするだけで 社会貢献に!

たぬき工房(千葉県)から



地域活動支援センターたぬき工房
千葉県木更津市で地域に根ざした特定非営利活動法人として活動。1993年、こころの病を抱えた方の家族会から始まり、2008年に法人化。2011年の東日本大震災を機に移転したという工房は、木工作業所を改装した温もりある雰囲気。レザークラフトや染物の制作のほか、調理プログラムなどを実施。1日の利用者数は13人ほど。

施設スタッフ・小黑須美子さん
メンバーの中には就業したり、起業にチャレンジしたり、巣立っていく方も。でも「しんどくなったら戻ってきていいよ」と伝えています。責任をもって仕事に打ち込める場づくりを通じて、私たちがサポートしていきたいと思えます。日精看の「しごとをつくろうプロジェクト」がきっかけで生まれた「イヤホンホルダー」は、他団体からも注文をいただき、メンバーの活躍の場を増やしています。これからもよろしくお願いします。



1月号と一緒に会員施設にお届けしています。中面に掲載されている商品は、すべて通常のカタログ「アンファミエ」の最新版と同じです。

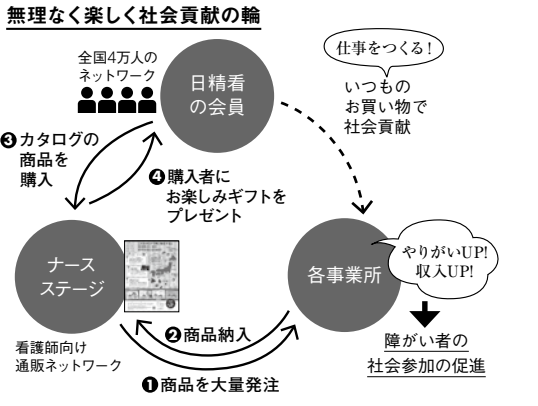


しごつくアンバサダーを募集しています!

「しごつくアンバサダー」とは、2013年11月より実施している、日本精神科看護協会と株式会社ナースステージの共同企画「日精看しごとをつくろうプロジェクト」の趣旨を深くご理解いただき、積極的な参加による応援を継続的に行ってください。自薦・他薦、いつでも受け付けております! 日精看までご連絡ください。

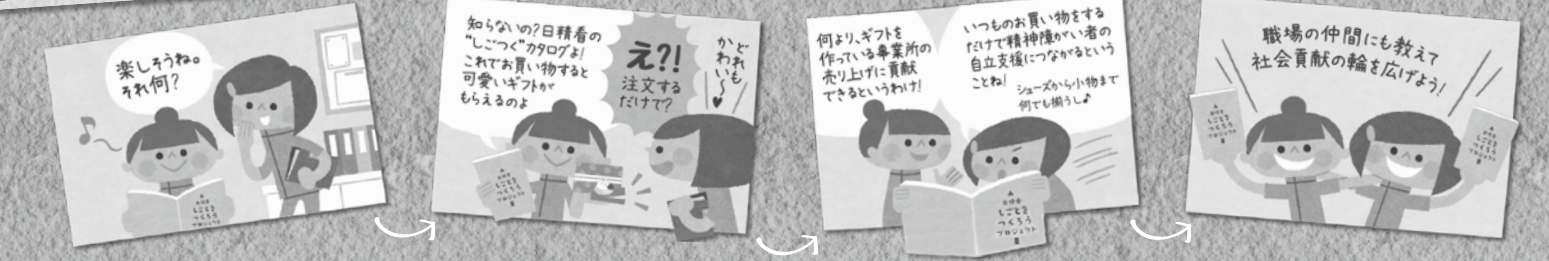
日精看 しごとをつくろうプロジェクトにご参加ください!

2013年11月より始動した「日精看 しごとをつくろうプロジェクト」が、おかげさまでこの秋に8周年を迎えました! 精神障がい者の自立支援を目的に始まった当プロジェクトは、通信販売でおなじみの株式会社ナースステージの協力のもと、普段の買い物を通じて、当事者の方々が希望する「しごと」をつくるというこれまでなかった新たな仕組みで展開してきました。精神障がい者が自立をめざして働く事業所の商品を大量に発注してナースステージが買い取り、お買物の特典としてカタログ利用者に還元するという仕組みは、「かわいい特典をもらえてうれしい!」「精神障害の方々に応援できる」と好評をいただいています。

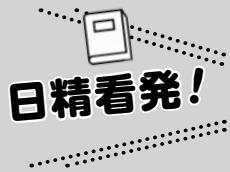


しごつく版「アンファミエ」最新カタログでお買い物をするだけ!
カタログは「ナースステージ」と一緒に各施設にお届けしています。カタログの追加をご希望の場合は、送付先、氏名、希望冊数をご記入のうえ、件名を「カタログ希望」として、nursingstar@m-s-com.comまでメールをお送りください。数に限りがありますので、先着順とさせていただきます。

今さら聞けない「しごつく」って?!



「しごつく」のすべてが分かる動画を公開中!
[QR Code]



Action & Report!

日精看の取り組みを中心に、
さまざまな出来事や話題を
ピックアップして詳しくご報告します。

●「地域で安心して暮らせる

精神保健医療福祉体制の実現に向けた検討会」報告

令和3年10月11日から厚生労働省で「地域で安心して暮らせる精神保健医療福祉体制の実現に向けた検討会」が開催され、日精看からは吉川会長が構成員として出席しています。本検討会は、令和3年3月に厚生労働省がとりまとめた「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る検討会」報告書をふまえて、より一層の推進に向けた具体的かつ実効的な仕組み、体制について検討するとともに、令和5年度末で期限を迎える医療計画等の見直しに向けた地域精神保健医療福祉体制のあり方や、精神障がい者の入院にかかわる制度のあり方、患者の意思決定支援および患者の意思にもとづいた退院後支援のあり方等についても検討する予定です。

11月18日に開催された第2回の検討会では、市町村が実施する精神保健福祉に関する相談支援の基本的な考え方について議論されました。この議論のなかで、吉川会長は以下のとおり、発言しました。

本検討会は、今年の夏ごろを目途に取りまとめる予定です。

- 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る検討会」報告書には、精神科医療機関には退院後支援を推進する役割として継続医療や継続看護が必要と示されているが、協議の場において看護職がどのように協働できるかについては十分な検討ができていない。
- 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」の実現に向けては、関係者が総力的に取り組んでいくことに加え、地域における重層的な体制づくりが望まれるが、地域の相談支援体制における医療の役割が明確になっていない。
- 医療にアクセスできない人、できなくなった人などの支援は喫緊の課題であり、市町村、保健所等だけの支援では、対応が難しい状況にあるのは明白である。
- この課題を解消するためには医療職との連携が欠かせない。医療機関や訪問看護ステーションの地域における役割や位置づけも明確にしていきたい。
- 医療機関や訪問看護ステーションにとっても社会的な役割に関する認識が高まり、市町村等からも医療との連携が促進されやすいと考える。
- 住まいの場に関する相談窓口に関して、医療機関から見るとわかりにくい状況にある。住居が確保できないと退院が進まないといった実情もある。そういった窓口機能も明確にしていきたい。

●令和3年度 第3回理事会要旨

日時：令和3年11月20日（土）13：00～16：00
開催方法：オンライン会議 議長：吉川隆博 会長

【審議事項】

1. 政策調査事業助成金公募規程の一部改訂について承認を得た。
2. 研究助成費交付申請について、以下の2題が採択された。
テーマ：高齢統合失調症患者の語りが描く長期入院の経験～ライフストーリーを取り入れた事例研究～
研究代表者：林 都子
テーマ：北海道における精神科認定看護師の役割開発を目指す学習ニーズ実態調査
研究代表者：石川千恵
3. 理事欠員による補欠選挙に関し、令和4年度総会にて実施することについて承認を得た。
4. 令和4年度日本精神科看護学会については現地開催とし、総会はオンラインとすることで承認を得た。
5. 令和6年度学会開催地として、日本精神科看護学会を熊本県、日本精神科専門学会を山口県で開催することについて承認を得た。
6. 令和3年度入会について承認を得た。
7. 規定以上の旅費について承認を得た。
8. 役員利益相反取引について、申請のとおり2名の承認を得た。
9. 岐阜県支部について、支部規約変更の承認を得た。
10. ブランディングに向けた検討は、中断することとして承認を得た。

【報告事項】

1. 精神科病院における身体拘束中の死亡事故に関する高裁判決について報告を行った。
2. 令和4年度研修会企画について報告を行った。
3. 精神科認定看護師受講資格審査について報告を行った。
4. 精神科認定看護師認定試験の実施方法について報告を行った。
5. 特定行為研修の開講に向けた準備状況について報告を行った。
6. 組織強化に向けた取り組みについて報告を行った。

東洋羽毛 PRESENTS

これが自慢！(全国発) 日精看支部紹介

全国47都道府県の日精看支部から、「うちの支部はここがスゴイ！」という活動内容、ご当地ならではのグルメ、お土産のご案内まで、元気なレポートを紹介します。

今月の
支部

千葉県支部
[会員数:1078人]



お話 / 清水勝幸支部長
(写真前列右から2番目)

支部長の自己紹介 & 支部長としての心がけ

私は医療法人学術会木村病院に勤めて35年になります。日精看の役員歴は18年となりましたが、一つの病院の中だけでは学びきれないことを吸収し、貴重な経験を積ませていただきました。日精看の活動を通じて他施設の医療従事者とかかわりを多くもつことができ、視野が広がり、何か困ったことが起こったときには相談や意見交換ができる関

係性は貴重です。今後も助け合いのここを大切に、精神科看護の絆の輪を医療従事者だけでなく地域にも広げて貢献したいと考えています。

千葉県支部が大切にしている ポリシーや強み

千葉県支部は日精看の支部第1号として1952年に発足しました。日精看と共に歩みを続け、2022年には70周年を迎えます。歴代の役員は、精神科看護の知識・技術の向上、そして精神科看護者がワンチームになることをめざして活動してきました。発足当時から、看護部長会、各施設の代表者の方々との連携をとり、協力や助言をいただける良好な関係を築けたことは大きな財産です。また、地域の医療福祉事業団体とも協力関係を築き、地域や他職種との連携も強固にしています。コロナ禍では直接会って集まれる機会をなかなかもてませんが、LINEなどのツールを活用し、密なコミュニケーションを維持しています。

千葉県支部主催の研修会、 イベントなど

オンラインでの支部研修会を1年続け、運営にもようやく慣れてきました。特に「自殺の看護」をテーマにした研修会には多くの施設からの参加があり、現場での苦労や課題などを共有する場となりました。今後もアンケートなどを通じて会員の皆さんのニーズに応えられるよう、工夫してまいります。2022年度には千葉県から全国に向けて支部研修会の配信にもチャレンジします。皆さんのご参加をお待ちしています。

千葉県を訪れたときにおすすめの スポット、お土産、ご当地情報など

私のおすすめは古い風情を残す佐原市です。「北総の小江戸」と呼ばれ、情緒たっぷりの町並みを歩くと、タイムスリップしたような気分になります。江戸時代から続く佐原の大祭には山車やお囃子で賑わいます。ぜひ訪れてみてください。

上質な暮らしは、上質な眠りから
東洋羽毛

睡眠健康指導士が教える
気になる「眠り」の
キーワード

今月のキーワード

“冷えを防ぐ
寝具の工夫”

寒い時期の就寝時は掛ふとんだけでなく、枕や敷ふとんも暖かく保つことが大切です。小さな枕では首周りに隙間ができやすく、冷えの原因に。肩口までたっぷり体を預けられる羽根枕がおすすめです。また、ベッドのマットレスの内部の空気が冷えて寒さを感じる場合も、羽毛素材のベッドパットを敷くだけで暖かさアップ。ぜひお試しください。

お問い合わせ先 / お客様相談室
☎ 0120-410840

提供 / 東洋羽毛工業
<https://www.toyoumo.co.jp>

News & Information

2022.2

学術集会

第47回 日本精神科看護学術集会のお知らせ

会場：沖縄コンベンションセンター(沖縄県宜野湾市)

会期：令和4年6月24日(金)～6月25日(土)

*今回は2日間に短縮します。また、総会は学術集会の会期中ではなく、別日程で開催します。

参加費：会員13,200円(税込) 非会員24,200円(税込)

開催のごあいさつ

だれもが安心して暮らせる地域づくりに向けて 創造力が高まる学術集会に

一般社団法人日本精神科看護協会 会長 吉川隆博



第47回日本精神科看護学術集会プログラムの決定が、予定より大幅に遅れていることをお詫び申し上げます。2年ぶりの会場開催(沖縄県)をめざして準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況および今後の動向等をふまえて、参加者の皆様と開催地域の皆様の安心・安全を第一に考えて、最良の開催方法を検討いたします。

本学術集会主題は「地域づくりにおける精神科看護者の役割」です。平成29年に厚生労働省が示した、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域づくりは大変重要なテーマになってきます。精神障害の有無や程度にかかわらず、だれもが安心して暮らすことができる地域づくりは、共生社会の実現に向けた取り組みでもあります。そのような地域づくりに向けて、精神科看護職にどのような役割が期待されてくるのか、私たち精神科看護職の強みを活かしてできることは何かなど、創造力が高まる学術集

会にしていきたいと思っております。

本学術集会では、在宅支援クリニックえがお代表・一般社団法人共生社会実現サポート機構とんとんとん理事長の山内勇人先生と、本協会の東美奈子副会長による、学術集会主題に沿った基調講演を予定しています。また同テーマによるシンポジウムも開催いたしますので、参加者の皆様と活発な意見交換ができることを期待しています。

また本学術集会の中で、「第2回精神科看護 CONGRESS」を開催します。本協会の活動方針、倫理的課題への対応策、精神科看護職のクリニカルリーダーの導入など委員会・各事業の報告をはじめ、行政報告や政策提言に向けた意見交換を行います。

開催方法とプログラムは、4月1日までは『ナッシング・スター』を含め、協会ホームページ、SNSでお知らせいたします。何とぞご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

第47回 日本精神科看護学術集会プログラム(予定) ※開催方法およびプログラムは、変更することがあります。

日時	午前	午後
6/24(金)	基調講演	2022「精神科看護 CONGRESS」 支部推薦演題／一般演題A・B
6/25(土)	2022「精神科看護 CONGRESS」 支部推薦演題／一般演題A・B	シンポジウム 支部推薦演題／一般演題A・B

※会期を3日間から2日間にいたします。 ※式典、総会(別日程)、懇親会は、行いません。

※アール・ブリュット展、学会カフェにつきましては中止の予定です。

学術集会専用ホームページをご覧ください

開催方法やプログラムなどの詳細は、学術集会専用ホームページにアップいたします。最新情報をお見逃しなく!

協会ホームページからアクセスしてください。

学術集会専用ページはこちら
<http://jpna-gakujutsu.jp>



就労支援フォーラム

「就労支援フォーラム NIPPON2021」が開催されました

令和3年12月17日～19日、「就労支援フォーラム NIPPON2021」がオンラインで開催されました。今年、「ゲームチェンジャー～打開から破壊まで～」というテーマで、全国から選ばれた16名のゲームチェンジャー*が集い、これからの障がい者の就労について熱いディスカッションをくり広げました。

初日のパネルディスカッションでは「同質選好からニューロダイバーシティへのゲームチェンジ」と題して、従来の障がい者雇用の枠組みにとらわれず、各人の個性を戦力として発掘・育成し、経済成長の担い手として活躍する社会をめざすための方策についてディスカッションが行われました。パネラーには河野太郎行政改革担当大臣も参加しており、官民連携で障がい者の就労を進めるための意見交換が行われました。

2日目は「この閉塞感を打ち破るゲームチェンジャーは誰だ!?」という全体テーマで、現在の就労支援が抱えている課題や打開策について、プレゼンテーションが行われました。

3日目は、8つのコンテクトフォーラムが開催され、日精看も「となりの職場は仕事の宝庫!～地域で広げる超短時間雇用～」というテーマで企画を行いました。この企画は、実際に渋谷区で取り組んでいる超短時間雇用を題材に、働きたくても障害の特性によって働くことが難しい人にも就労機会を提供できるということを説明したもので、多くの参加者から好評をいただきました。

日本では障がい者就労は福祉分野という認識がもたれている傾向にありますが、私たち医療分野の専門職も、精神障害を有する方たちの「はたらく」を支えるという意味においては、就労支援への介入も必要な役割であると実感しました。

就労支援フォーラムは、障害のある人の「はたらく」を全力で応援するために企画された事業です。だれもが「あたりまえに地域ではたらく」社会の実現をめざして、日精看も他団体の活動に協力していきます。

*これまであたりまえだった状況を大きく一変させるような人



日精看主催のコンテクトフォーラム

看護管理者の部屋

日精看ホームページの人気コーナー「看護管理者の部屋」をぜひご活用ください。「精神科看護管理ニュース」や診療報酬改定に関する資料をご覧ください。www.jpna.jp



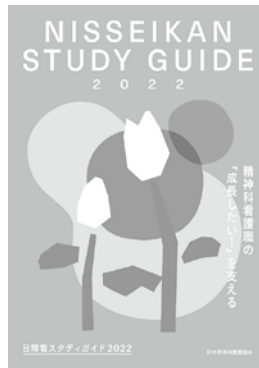
研修会

「日精看スタディガイド2022」をお届けします

2 月号の『ナーシング・スター』とともに「日精看スタディガイド2022」をお届けします。これまで「研修会のご案内」として毎年発行してきましたが、2022年度から導入する「精神科看護職のクリニカルラダー」をふまえ、精神科看護職の成長をサポートする学習内容を示すものとして、ネーミングを新たに生まれ変わりました。

「日精看スタディガイド2022」は研修会のラインナップを案内するだけでなく、確かな看護実践能力をもつ精神科看護職の成長を導くものとして活用できる内容としました。ぜひ、ご自身の精神科看護職としての成長を支える1冊としてご活用ください。

また、本誌の特集(1、2、3面)では「精神科看護職のクリニカルラダー」をふまえた研修会の選択方法についても掲載していますので、次年度の学習計画の参考にお役立てください。



診療報酬改定説明会

令和4年度診療報酬改定説明会を開催します

今年度は診療報酬改定が行われます。会員の皆様のご要望を受けて、対面形式とオンデマンド配信の2種類の説明会を開催することにいたしました。参加費用はどちらも同じ金額になります。協会ホームページからお申し込みください。

【参加費】会員3,300円(税込) 非会員6,600円(税込)
【プログラム】
 精神医療・看護の改定内容とポイントなどを、どこよりも詳しく、そしてわかりやすく解説します。
第1部: 令和4年度診療報酬改定の概要
 講師 厚生労働省保険局医療課
第2部: 精神医療・看護に係る改定背景とその経緯
 講師 日本精神科看護協会 会長 吉川隆博

【対面形式】
 開催日: 令和4年3月12日(土) 10時~12時 定員: 50名
 会場: 日本精神科看護協会 東京研修会場
 ※対面形式をお申し込みの方は、オンデマンドもご利用になれます。
【オンデマンド】
 配信開始日: 令和4年3月19日(土) 13時から配信
 配信期間: 配信開始日から2週間ご視聴いただけます。

会員継続手続き

会員継続手続きが始まっています!

会員継続手続きに関する詳細は、施設会員代表者にご確認いただきますよう、お願いいたします。

日精看はこれからも、質の高い精神科看護を安全に提供できるよう、情報発信や研修会、学術集会、政策提言、こころの健康に関する啓発活動などを充実させてまいります。

全国の支部および会員の皆様とともに、こころの健康を通して、だれもが安心して暮らせる

社会をつくれるよう、ぜひ一人でも多くの方が来年度も継続して入会してくださることを願っています。

会費納入方法

- 郵便局での払い込み(会員施設単位、個人)
 - 銀行口座からの引き落とし(個人)
- *2022年度の口座引き落としの手続きは受付を終了しました。

アート写真コンテスト

「第7回 わたしが見つけた! アート写真コンテスト」 まだまだ作品募集中!

第7回わたしが見つけた! アート写真コンテスト」の作品を募集しています。みなさんが日ごろかかっている患者さんや利用者さんに、ステキな写真を撮っている方はいませんか。ステキな作品を「見つけ」たら、ぜひご応募ください。募集期間は令和4年3月31日まで。詳細は協会ホームページをご覧ください。

応募はこちらから



精神科認定看護師制度

精神科認定看護師 制度の改正に向けて



当 協会では、チーム医療を強くする看護師を養成するために次年度から特定行為研修を開講し、さらに令和5年度に精神科認定看護師制度を改正します。

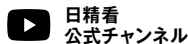
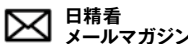
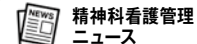
今回の精神科認定看護師制度の改正では、「精神科認定看護師がめざすべき目標」(下表)を明確にし、必要な知識と看護実践能力を確実に修得できるようにカリキュラムを見直し、一部の科目はオンラインで受講できるようになります。また、資格取得後のフォローアップ体制も、充実させます。これまでの検討の経緯や最新情報は、ホームページで公表していますので、ご覧ください。

表 精神科認定看護師がめざすべき目標

- ① 精神科看護の高度な専門性を備え、精神科認定看護師としての4つの役割機能(実践、相談、指導、知識の発展)を適切に遂行できる。
- ② 時代の変化に対応できる看護の知識・技術・思考を身につけ、精神科医療・看護へ貢献できる。
- ③ 精神科看護の対象者と活動領域を広くとらえ、当事者およびすべての関係者を包含した看護を創造できる。

ご登録はお済みですか? お役立ち情報をお見逃しなく!

いいね! やシェアをお願いします!

日精看
公式チャンネル日精看
facebook日精看
メールマガジン精神科看護管理
ニュース

日精看公式LINEは1面のQRコードよりご登録ください!

Message

患者さんと医療従事者が 安心できる対応策を

日本精神科看護協会 会長
吉川隆博



1月上旬より、懸念されていた新型コロナウイルス変異株の感染拡大が認められるようになりました。感染対策の専門家や医師会などから、医療従事者を含むエッセンシャルワーカーが濃厚接触者となった場合に就業可能とする条件について、検討の声があがっています。医療崩壊を防ぐことは重要ですが、患者さんと医療従事者が安心できる対応策を検討してほしいと願っています。

仲間と一緒に 大きな焚き火を

日本精神科看護協会 業務執行理事
西岡由江



焚き火の効果を知っていますか? 何かを考えるわけでもなく、焚き火をポーッと眺め、炎の揺らぎの色や音を五感で感じるのです。焚き火には人の呼吸や心拍と同じリズムのゆらぎがあり、リラックス効果があります。私も庭で小さな焚き火に癒やされています。いまは小さな焚き火ですが、新型コロナウイルス感染症が収まったら大自然の中で仲間と一緒に焚き火を囲みたいと願っています。

Nursing Star

ナーシング・スター No.752 2022年2月1日発行

編集人 鈴木庸
 デザイン 堀田沙友里、畔柳江里
 (ピーワークス)

DTP・印刷 ビーワークス
 運営 コッヘル

発行人 吉川隆博
 発行 一般社団法人日本精神科看護協会
 〒108-0075
 東京都港区港南2-12-33 品川キャナルビル7F
 TEL 03-5796-7033 FAX 03-5796-7034
 URL http://www.jpna.jp E-MAIL info@jpna.or.jp

広告のお問い合わせ nursingstar@m-s-com.com

©日本精神科看護協会 2022
 本誌記事、写真、イラストの無断転載を禁じます。

次号(No.753)は2022年3月1日発行です。